



通常理事会の様子

日造協は5月27(火)、令和7年度第1回通常理事会を岐阜市内の岐阜グランドホテル鳳凰の間で開催し、下記議案を審議・承認した。

通常理事会は、和田新也会長のあいさつの後、令和6年度事業報告及び決算報告、令和7年度通常総会の招集、支部長の承認、会員の入会承認の4議案を審議し、いずれも承認した。

そのほか、令和7年度通常総会議案の確認事項として、役員の補欠選任、定款の改正、報告事項として、会長及び業務執行理事の職務執行状況報告、令和7年度造園建設功労賞等の表彰、職場における熱中症対策の強化の3事項を事務局より説明した。

このうち、支部長については、鹿児島

県支部長として間世田吉宣氏(株)桂造園)を承認した。

熱中症対策の強化については、死亡災害に至る割合が他の災害の約5～6倍で、死亡者の約7割が屋外作業であること。死亡災害が2年連続で30人レベル、気候変動の影響によりさらなる増加が懸念され、死亡災害のほとんどが、初期症状の放置・対応の遅れであることとなっていることから、6月1日の改正労働安全衛生規則施行を踏まえ、熱中症対策が事業者に義務付けられたことなどを説明した。(3面参照)

総支部長・支部長合同会議等を開催

総支部長・支部長合同会議等は5月27日(火)、岐阜グランドホテルで開催し、総支部・支部の報告、令和7年度事業の実施や2027国際園芸博覧会等を議事に行われた。

各総支部から地方整備局や国道事務所などとの意見交換や要望書の提出を中心に、日造協の各種資格制度などの研修をはじめ、造園施工管理技士の取得支援や視察研修等について報告があった。

また北海道総支部からは、2027年国際園芸博覧会に北海道、北造協と共同で出展する報告があり、北海道らしい樹木や花・緑などを展示することで、国内外に北海道の花と緑の魅力をPRするとともに、担い手の育成も期待されるとした。



会議の様子

四国総支部からは、地域リーダーズ勉強会、地方整備局との防災協定の締結、九州総支部から関連4団体による「緑化協議会」の概要について報告した。

ぎふフェア会場を視察

第42回全国都市緑化ぎふフェアの会場視察を5月28日(木)に実施し、約40名が参加した。

視察は、可児市にある会場の1つ「ぎふワールド・ローズガーデン」で、岐阜県都市建設部都市公園・交通局都市



説明される鶴飼信裕課長①とプラン賞の庭②

公園課長の鶴飼信裕氏からフェアの説明をいただいた後、会場を視察した。

会場は、世界最大級のバラ園が開花期で見頃となっており、岐阜県支部をはじめとする企業団体等による出展花壇・庭園も見どころ。また、日造協の全国造園デザインコンクールで、緑化フェア「みどりの広場」プラン賞を受賞した岐阜県立恵那農業高等学校・長尾優里奈さんの作品が岐阜県支部が作庭、清流や鶴飼、金華山が表現されていた。



視察参加者での集合写真

樹林

(一社)日本造園建設業協会理事
(有)海邦造園 代表取締役 森根 清昭



沖縄らしい世界水準の観光地に相応しい良好な沿道景観の形成に向けて

最初に、平成30年4月(2018年)の「樹林」へ「沖縄の観光と緑化景観について」のタイトルで寄稿しましたが、それから7年が経過しており、その後の沖縄県における取組状況について今般、寄稿する機会を得ましたので、現状について述べたいと思います。

◆

沖縄県における県管理道路の街路樹数は、高木が約9万本となっており、道路延長あたりの高木本数は31.2本/km(「我が国の街路樹Ⅸ」国土技術政策総合研究所2023)と都道府県別道路延長あたりの高木本数では全国1位となりました。

しかし、沿道景観上の一面として雑草の繁茂や害虫対策等のさまざまな要因による高木の不適切な剪定、また台風等の接近や周辺環境の変化に伴う街路樹の樹勢衰退による形姿不良木、枯損による倒木、大径木化による根上りによる歩道舗装破損等への課題が顕在化してきました。

◆

さまざまな状況に鑑み、沖縄県においては官民協働による委員会が設置され次のような基本施策が策定されております。

- (1) 沿道景観向上技術ガイドライン(平成29年3月)
- (2) ～美ら島沖縄～花と樹木の沿道景観計画(令和4年9月)
- (3) 街路樹植栽・維持管理ガイドライン(令和6年3月)

この中で、平成29年に策定された「沿道景観向上技術ガイドライン」では、維持管理業務委託の新たな発注方法として「性能規定型方式」が示され、令和3年度に業務が開始され、以降令和7年度で5年目を迎えました。

県管理道路では雑草が抑制されたこ

とによる地域住民からの苦情も減少し、発注者の要求水準である「草高40cm」以下をコントロールすることができるようになっています。

また、沖縄県では、沿道景観に関する諸々の対応に迅速に資するため、令和6年4月に「沿道景観推進室」が設置され、取り組みについて強化しております。

「沖縄らしい世界水準の観光地に相応しい良好な沿道景観の形成」への目標達成に向けた取り組みをこれからも具体的かつ持続的に進めるためには、国道管理者・市町村道管理者とともに官民による事業での連携で沖縄県民への周知と理解をいただくことが、とても重要で大切なことだと考えております。

◆

近年、外国から多くの観光客が日本を訪れています。全国47都道府県には独自の伝統・芸能・文化と美しい緑の景観・風景・風土があります。そのような環境下で、一つの表現として言われている言葉に「みどりは、人々の暮らしに潤いと安らぎを与える。」とありますが、私自身は、その言葉に、ひと言つけ加え「みどりは、人々の暮らしに潤いと安らぎを与え、さらに感動をも与える。」ことができると考えます。

そこに私ども造園業界が社会へ貢献できる事柄が、たくさんあることに気づかされます。

これから「沖縄らしい世界水準の観光地に相応しい良好な沿道景観の形成に向けて」を実現するために、これまで約10年近く参加してきた官民協働の委員会の一員として、更に日々取り組んでまいりたいと思います。

令和7年度 全国安全週間のお知らせ

7月1日から7月7日まで(6月1日から6月30日まで準備期間)

今年で98回目となる全国安全週間は、労働災害を防止するために産業界での自主的な活動の推進と、職場での安全に対する意識を高め、安全を維持する活動の定着を目的としています。

労使の協力によって災害件数は長期的に減少してきたものの、近年では死傷災害が増加傾向にあり、転倒や腰痛、墜落・転落といった災害が依然として多く発生しています。

こうした状況を踏まえ、第14次労働災害防止計画に基づいた継続的な取り組みが重要です。

令和7年度は「多様な仲間と 築く安全 未来の職場」をスローガンに、労使一体となった活動を展開し、安全な職場環境づくりが求められます。

日造協会員のみなさまには、日造協のロゴ入り安全週間ポスターを送付しておりますので、ぜひご活用ください。

安全週間についての詳細は、厚生労働省のHPをご覧ください。(https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_57195.html)

令和7年度 通常総会

講演会・意見交換会

6月26日(木) 14:00～

ホテルグランドアーク半蔵門

東京都千代田区隼町1-1

☎ 03-3288-0111

会員の皆様のご参加をお願いいたします。



涌井史郎チェアパーソン（岐阜県立森林文化アカデミー学長）が乾杯の発声を行った

日造協は、全国都市緑化フェアの開催地で恒例となっている「花と緑のつどい」をぎふフェアの開催地である岐阜市内のホテルで開催。多数のご来賓をはじめ、多くの関係者が参加した。

日造協は「花と緑のつどい」を5月27日、岐阜グランドホテルで開催した。まず、開催地より中嶋和敏中部総支部

長が開会の言葉を述べ、主催者を代表して和田新也会長があいさつ。関係者への感謝と社会における花と緑が持つ役割の



中嶋和敏総支部長

和田新也会長

大きさを語った。

次いで、来賓の江崎禎英岐阜県知事、片山壮二国土交通省 都市局公園緑地・景観課長よりご祝辞をいただいた。

来賓には、ぎふフェア開催会場の首長ならびに幹部職員の方々、国交省、国際園芸博覧会協会、日本造園学会をはじめ関連団体から多数ご参加いただき、ご所属とお名前をご紹介します。祝電披露の後、公益社団法人 2027 年国際園芸博覧会協会 GREEN × EXPO ラボ チェアパーソン



江崎禎英岐阜県知事

片山壮二課長

で岐阜県立森林文化アカデミー学長の涌井史郎氏が乾杯を発声、懇談となった。

つどいは参加者の情報交換など、和やかに行われ、盛会のうち、坂井 丈浩岐阜県支部長代行が閉会の言葉を述べ、散会した。



涌井史郎チェアパーソン

全国リーダーズ勉強会実施報告 P-PFI 視察、造園学会 100 周年大会参加など行う

全国リーダーズ勉強会を5月17日(土)～18日(日)に都内で実施したので報告する。

1 日目【P-PFI の視察】

麻布台ヒルズに集合し、㈱日比谷アメニスの河合博仁氏に案内していただいた。

2023 年 11 月に開業した麻布台ヒルズは、森ビルが同じく手掛けたアークヒルズ・六本木ヒルズ・虎ノ門ヒルズの間位置しており、周辺にはホテルや大使館が多く集まるグローバルで文化的で、まさに新時代の東京を象徴するエリアである。

敷地の 1/3 にあたる約 24,000㎡を緑化しており、芝生広場や果樹園、季節ごとに表情を変える植栽がされ、圧倒的に豊かな緑を実現していた。

人々がいつでも使用できる芝生広場は頻繁な張替えが行われていることや、ビルに囲まれておりビル風や日照の課題についても説明いただいた。



次に、明治神宮外苑のイチョウ並木を卯之原理事に説明いただいた。約 300m の並木は、勾配による遠近法を利用し立体感やスケール感が出ており、東京を代表する景色の一つである。内側と外側の管理者の違いや、樹形を維持していく剪定技術、入札の話など含めて、詳しく説明していただいた。



次に、都立明治公園を西武造園㈱の福

島裕介氏、清水卓氏に案内していただいた。明治公園は、都として初めて都市公園法に基づく公募設置管理制度 (Park-PFI) を活用し、整備・管理運営されている公園で、東京建物㈱を代表構成団体とする数社のコンソーシアムが設立した会社により、2023 年 10 月に供用が開始された。

芝生広場や樹林地のほか、渋谷川をモチーフにした水景、カフェやスパなどが入る公園施設があり、神宮球場や国立競技場などイベントが行われる施設に隣接する公園でもあるため、いろいろな方が思い思いに憩い過ごされていた。

園内には、AI Beacon などを用いて平均訪問回数や来園者数の測定が可能な「スマートポール」、公園や周辺地域の案内や季節のイベント情報を周知する「デジタルサイネージ」などがあり、DX が進んだ公園と言える。



最後に東京大学の樹木管理について、日造協の野村徹郎技術アドバイザーに案内いただいた。大木化した樹木が多いが、予算が少ない大学ならではの管理の苦労について話を聞くことができた。

日本造園学会 100 周年記念祝賀会に参加

100 周年ということで、歴代の学会長や造園業界の著名人なども参加されて



麻布台ヒルズ



都立明治公園



集合写真

おり、多くの方々と交流することができた。その後、関東・甲信総支部の地域リーダーズも交え親睦を図った。

2 日目【造園学会全国大会の研究発表等の聴講】

「百の景の行く先」を全体テーマに、研究・事例発表会・ポスター展示などが行われた。

街路樹や公園管理など、施工現場でもすぐに役立つ研究をされている発表もあり、専門性や産官学等の立場を超えて知見を共有し、幅広く交流することが大切だと改めて実感した。

まとめ

地域リーダーズは、会員間だけでなく、さまざまな組織と交流することも目的にしている。今回は日本造園学会の 100 周年記念式典が行われる機会に合わせて開催したが、今後もネットワークを広げていきたい。

今年度の全国の会員を対象にした勉強会は、2 月～3 月頃に群馬県で予定している。詳細がまとまったら案内するので、ぜひご参加いただきたい。

学会の目・眼・芽 第 143 回

「学会の野・根・芽」

(公社) 日本造園学会理事、工学院大学建築学部まちづくり学科 教授 篠沢 健太

今年日本造園学会は創設 100 周年を迎えました。私は記念誌編集に携わっています。

記念誌は〈本編〉〈作品編〉の 2 分冊で、〈本編〉は多くの先輩方からご寄稿いただいて、学会の歴史を振り返る構成。ご寄付いただいた皆様に配布いたします。〈作品編〉は学会賞受賞作品を再訪し、受賞者の方々にインタビューさせていただきました。

こちらは学会事務局を通じ販売します。ともに 12 月刊行予定です。ぜひご覧ください。



さて、学会は新たな 100 年に向けて、一步踏み出そうとしています。会員の多くは他分野との連携に期待を抱き、新たな会員の参加にも可能性を感じています。では、他分野と関わる時、造園学会とは？学会の根幹は何か？という疑問も湧いてきます。

今回の記念誌編集作業は自らを見直し、問い直す良い機会でもありました。この記事は「学会の目、眼、芽」ですが、本稿では学会の「野、根、芽」について考えてみたいと思います。



学会の「野」は、分野です。東日本

大震災の際、日本造園学会は復興支援活動の一環として、コンセプトブック「復興の風景像」を出版しました。

学術・技術・芸術の各領域がそれぞれ経験の拡がりや専門分野の系統の幹を足がかりに総力を挙げて支援し、その思いを書籍にまとめました。

この経験を通じて私は、それまでどこか中空で捉えどころがなかった日本造園学会に、強い横のつながりがあることを感じられるようになりました。



一方で、その野にタネを直撒きして芽が出るか？参加して何かできるか？満足できるのか？と言われると、そう簡単ではないことも事実です。

しかし学会には、すでに根づいた分野やさまざまな系統が伸びています。これらを「台木」に、自らを「接木」

していくことが学会活動のポイントではないでしょうか。

私も論文執筆や計画設計の仕事の場面で、常にそうしてきました。



自分の野に根を見出して、ようやく、学会に新たな「芽」がつく…今回記念誌の編集に参加した若いメンバーは、自分たちのアイデンティティを模索しつつ作業し、きっと何らかの繋がりを見つけてくれたと思います。彼らが根付き、芽吹くこと期待したいと思います。

またぜひ皆さんにも、造園学会の野や根を感じていただき、学会にも参加して芽生えていただきたいと思います。

学会には、あなたが芽吹くための、野と根が、必ずあるはずです。

建設産業における女性活躍 定着促進に向けた実行計画

トップの意識を変えて、現場が変わる。担い手確保につなぐ、
全ての人が働きやすく働きがいのある魅力ある建設産業の実現へ



中野洋昌国土交通大臣への実行計画手交における同席者一同での記念撮影

1. 実行計画検討の概要

「建設産業における女性活躍・定着促進に向けた実行計画」を3月14日、中野洋昌国土交通大臣に手渡しすることが無事にできた。

この計画は5年計画の三期目となる。三期目の計画検討会議は、国土交通省不動産・建設経済局建設振興課による運営で実施され、参加団体はいわゆる建設業6団体と当部会が参加する建設産業女性定着支援ネットワークによる。

建設産業女性定着支援ネットワークは、全国活動18団体、都道府県活動39団体が参加する組織となり、同ネットワークの幹事会は、幹事長が鹿島建設



中野洋昌国土交通大臣への説明の様子

(株)の須田久美子氏(土木)、副幹事長が(有)ゼムケンサービスの籠田淳子氏(建築)と酒井(造園)が受け持ち、実行計画の検討に参加している。

2. 建設業界をとりまく課題

計画の検討に際し、有識者ヒアリング、ブロック意見交換会、アンケート等を実施した結果、「入職に関すること(建設産業の魅力伝達、保護者を含めた広報活動)」、「定着に関すること(職場環境として育児休暇やその後の職場復帰、現場の環境整備、関係者理解促進の必要)」に関する意見が強く示され、そのため、経営者層の意識改革の重要性が結論づけられた。

3. 実行計画が掲げた目標と取り組みの柱

目標は以下の3項目である。

- ①建設業における女性技術者・技能者の人数を毎年増加させる
- ②女性の入職者に対する離職者の割合が建設業全体の入職者に対する離職者の

割合を上回らない努力

③建設業の管理職に占める女性の割合を毎年増加させる

その取り組みの柱は、以下の3項目である。

- ①建設産業の魅力向上・発信
- ②働きやすい現場の実現
- ③女性活躍・定着促進に向けた取り組みのすそ野拡大

この実行計画の認知度が低いようなので、具体的な取り組みについては国土交通省のURLにアクセスして、特に経営者層にはぜひ、実行計画へお目通しいただきたい。

https://www.mlit.go.jp/totikensangyo/const/totikensangyo_const_tk1_000088.html 右のQRコードからアクセスできます。



4. 今後の女性活躍推進部会およびネットワークの活動等について

女性活躍推進部会は造園業の理解と入職への一助として部会員や地元の会員企業への参加をお願いし、高校、高専、専門学校、大学等への出前講座に注力してきた。

広報の一助として継続していきたいので、各総支部、支部にはぜひ実施の働きかけをお願いしたい。

また、ネットワークでは建設業6団体へ活動提案の働きかけや、参加団体へは、国土交通省の新たな政策に対する理解の誘導や、分野を超えて建設業の取り組みのヒントになるような勉強会なども提案していきたいと考えている。これは部会への活動にもつながるものである。

女性活躍推進部会長 酒井 一江

令和7年6月1日「改正労働安全衛生規則」施行

職場における熱中症対策の強化について

6月1日に改正労働安全衛生規則が施行され、熱中症対策の強化については、事業者が「体制整備」「手順作成」「関係者への周知」が義務付けられる。対象は「WBGT28度以上または気温31度以上

の環境下で連続1時間以上または1日4時間を超えて実施が見込まれる作業」となっている。右のQRコードから下記の資料にアクセスできます。



現場における対応

熱中症のおそれがある労働者を早期に見つけ、その状況に応じ、迅速かつ適切に対処することにより、熱中症の重篤化を防止するため、以下の「**体制整備**」、「**手順作成**」、「**関係者への周知**」が事業者が義務付けられます。

基本的な考え方



1 「熱中症の自覚症状がある作業中」や「熱中症のおそれがある作業を見つけた者」がその旨を報告するための体制整備及び関係作業中への周知。
※報告を受けるだけでなく、職場巡視やパディ制の採用、ウェアラブルデバイス等の活用や双方向での定期連絡などにより、熱中症の症状がある作業者を積極的に把握するように努めましょう。

2 熱中症のおそれがある労働者を把握した場合に迅速かつ的確な判断が可能となるよう、
①事業場における緊急連絡網、緊急搬送先の連絡先及び所在地等
②作業離脱、身体冷却、医療機関への搬送等熱中症による重篤化を防止するために必要な措置の実施手順の作成及び関係作業中への周知

対象となるのは

「WBGT28度以上又は気温31度以上の環境下で
連続1時間以上又は1日4時間を超えて実施」が見込まれる作業

「職場における熱中症対策の強化について」厚生労働省 資料より抜粋

「緑地樹木剪定士」研修会・認定試験（夏期） 2025年7～8月に実施 受講・受験のご案内

緑地樹木剪定士は、公園や緑地の管理者とその利用者の間に立ち、公園・緑地空間に植栽された多様な樹木を対象に、適切な管理を提案し剪定を行い、利用者が快適に安全に利用できる造園空間の提

供できる技術者です。

2025年度の夏期開催は、研修会を7月、認定試験を8月に実施します。申込受付は5月より開始していますので、ぜひこの機会に受講・受験ください。

「緑地樹木剪定士」研修会・認定試験の概要

1. 対象者：街路樹剪定士であること
2. 手続方法：①日造協HPから申込（申込期間：5月9日(金)～6月30日(月)）
受験会場と受験日時を指定、受験料の支払い
②緑地樹木剪定士研修会（受講期間：7月1日(火)～31日(木)）
●送付されたテキストと動画による研修会の受講
③緑地樹木剪定士認定試験（受験期間：8月1日(金)～31日(日)）
●①で指定した会場・日時でのCBT方式認定試験の受験
3. 受講・受験料：一般35,200円、日造協会員18,700円（税込・テキスト代含）
※前回（2024年冬期）不合格の方は再受験として申込可能
再受験料（一般・日造協会員共通）7,700円（税込・テキスト代含）
4. その他：合否発表は9月中旬以降、合否通知を発送/合格者に2026年2月頃登録認定手続き（有料）を案内し、認定者に3月頃に資格証を送付



人とつながる 緑とつながる

第20回全国造園フェスティバル 開催申込受付スタート 新たなテーマでリニューアル より多くの開催にご協力を

全国造園フェスティバルは、「みどりの大切さ」や「造園の魅力」を広く社会に発信することを目的に、全国各地で開催される参加型イベントです。例年、都市緑化月間である10月を中心に開催されていますが、開催日時は、地域の都合に応じて自由に設定いただけます。

第20回を迎える今年度からは、新たなテーマ「人とつながる 緑とつながる」を掲げ、より親しみやすくなりリニューアルしました！

さらに、イベントのシンボルとして新キャラクターが登場！

会場ではキャラクターの名前を募集いたしますので、ぜひご応募ください。

なお、造園フェスティバルへの参加・開催に関わることで、造園CPDの単位を取得することも可能です。

子どもから大人まで、より多くの方々に造園の仕事や自然とふれあう楽しさを身近に感じていただける機会となりますので、皆さまのご参加とご協力をよろしくお願いいたします。

バッテリーでもハイパワー！
ゼノアのバッテリーチェーンソー

Gi400T/Gi400

■圧倒的な鋸断性能 ■抜群のバランスと高い操作性 ■プロが満足する耐久性・冷却性

トップハンドルソー Gi400T

希望小売価格(本体のみ)
91,740円(税込)

初回おため購入例
[本体+BLi200X+QC330ZR]
143,000円(税込)



質量 2.5kg
(バー&チェン、バッテリー除く)

ロングハンドルソー Gi400

希望小売価格(本体のみ)
95,150円(税込)

初回おため購入例
[本体+BLi200X+QC330ZR]
146,410円(税込)



質量 2.9kg
(バー&チェン、バッテリー除く)

当社認定販売店※限定商品 取り扱いについては販売店へお問合せください。
(※当社が実施するサービスハブ講習を受講した販売店です)

ハスクバーナ・ゼノア株式会社
info.hv@husqvarna.jp ゼノアHP www.zenoah.com/jp/

0570-550933
受付時間9:00～17:00(土・日・祝日除く)

ゼノアサイトは
こちら



来年史跡指定50周年、開園25周年「池上曽根史跡公園」増築進む

池上曽根史跡公園は大阪府和泉市と泉大津市にまたがる弥生時代中期（紀元前2世紀～紀元前1世紀頃）の大規模な環濠集落遺跡「池上曽根遺跡」を整備した歴史公園です。

総面積約60万㎡に及ぶ日本屈指の遺跡で、1976年に国史跡に指定され、2001年に公園として開園しました。

地域のランドマークとして親しまれてきた、池上曽根遺跡も2026年に、史跡指定50周年、史跡公園開園25周年という節目の年を迎えます。

それを機にイベントやレクリエーション、スポーツなどの活用ができる多目的広場の整備や弥生情報館の増築などを進めています。

主な見どころとしては「いずみの高殿」「やよいの大井戸」「竪穴住居」があります。まず弥生情報館でガイドマップを入手し、遺跡の背景を学んだ後、「いずみの高殿」や「やよいの大井戸」を巡るのがおすすめです。



いずみの高殿とやよいの大井戸

隣接する弥生学習館での体験学習や弥生博物館訪問を組み合わせれば、子供から大人まで充実した一日を過ごすことができると思います。

歴史好きにはもちろん、気軽に散策や学びを楽しみたい人にもぴったりのスポットです。ぜひ訪れて、弥生時代の息吹を感じてみてください！

公園の近くには、うどん屋、天ぷら屋などいろいろな飲食店がありますが、一番近くて美味しいのは、インド料理屋スラジュです。チーズがたっぷり入ったチーズナンが人気です。



広場

弥生時代とインドはかなり離れた存在のように感じられますが、弥生時代後期の紀元後1世紀になると、南インドで製造されたガラス玉の輸入量が激増していたり、日本語の語源が古代タミル語であるという説もあったり、意外なつながりがあるようです。

池上曽根史跡公園に訪れた際にぜひ食べに行ってみてください。

大阪府支部 横田 萌華（株昭和造園土木）



竪穴住居



弥生情報館にある遺跡の模型



インド料理スラジュ

日造協 新入会員のご紹介

社名 / 住所 ☎	代表者 / FAX
藤木商店(株)	藤木 仁
滋賀県大津市今堅田 2-38-3	
☎ 077-573-2278 FAX 077-573-6202	



日造協賛助会員の紹介 日産化学(株) 農業事業を通じてSDGs・社会課題の解決に貢献する

弊社は、1887年(明治20年)、高峰譲吉、渋沢栄一、益田孝ら明治の先覚者により、わが国初の化学肥料製造会社である東京人造肥料会社として創業いたしました。

現在は、機能性材料(電子・無機・有機)、ライフサイエンス(農業・医薬)、化学品の3つの事業領域で、グローバルに製品・サービスを提供しております。

その中で緑化営業部は国内のゴルフ場・緑地管理(道路・工場・公園)に使われる農業を全国の特約店様を通じてユーザーの皆様提供しております。

近年、除草作業をめぐる、農村部だけではなく都市部においても人手不足や財源不足で十分に管理ができず、景観のみならず防災上も問題が生じており、「雑草管理は社会課題」となっています。

そのような中、弊社はNETIS登録(登録番号HR-240018-A)を取得した除草剤「グリーンインプールDF」を通じて、法面等のイネ科植生への転換、オオキン

「グリーンインプールDF」へのQRコード

グリーンインプールDF・プラスコンM液剤(粒剤)による特定外来生物(雑草)の除草技術

特定外来生物(広葉雑草)の除草

プラスコンM液剤

「道路」「緑地」「公園」など「芝地」でも使用可能

イネ科植物への健全な管理に

法面の緑地管理に

景観の維持に

ケイギク等特定外来生物(雑草)防除を行い、省力的で低コストな雑草管理・緑地景観維持に取り組んでおります。

その他、街路樹のケムシ防除にも使用可能な殺虫剤「イザナミフロアブル」も製品として取り揃えております。

雑草管理・緑地管理にお困りの方は、ぜひお気軽にお問い合わせください。

日産化学(株) 農業化学品事業部 緑化営業部 〒103-6119 東京都中央区日本橋 2-5-1 問合せ: TEL03-4463-8290

委員会等の活動

- 広報活動部会
 - 5/8 日造協ニュース5月号の内容確認、2025年9月までの記事構成・2025年度からの造園フェスティバルのツールについて審議
- 総務委員会及び財政・運営部会合同会議
 - 5/14 令和6年度事業報告(案)・決算報告(案)等について審議
- 若年者ものづくり競技大会 造園競技委員会
 - 5/13 8/23 香川で開催の競技課題について検討
- 技能五輪全国大会 造園競技委員会
 - 5/28 10/17-20 愛知で開催の競技課題について検討
- 「造園工事の樹上安全作業マニュアル」普及検討委員会
 - 5/14「造園工事の樹上安全作業マニュアル」を会員等へ周知するため、今年度の事業計画について造園連と検討

編集後記 今月は、大粒の雨が降り頻る中での広報部会でした。ジメジメとした日が続きますが、今年は初めて総会のお手伝いに何うので、爽やかな気持ちで参加させていただきたいと思います。



花いろいろ

ゴールデンウィークに三重県桑名市なばなの里へ行ってきました。

大温室で常時栽培・展示してある、大輪の花ベゴニアがずらりと並んであり、上を見上げると巨大ベゴニアが咲き誇っていました。

一つのプランターにこんな巨大ベゴニアが育つことが不思議でどんな肥料や土を使っているのかとつい、プランターの中を触ったりしてしまいました。

豪華絢爛な花々に魅了された後はイルミネーション、広大なメインテーマエリアの中

央にそびえる富士山(名峰富士)は圧倒する壮大なスケールのものでした。

その他、珍しい青色胡蝶蘭や今年はまだ咲



きが遅い中でのバラ園では黄色いバラがポツンと咲いていました。可愛らしい姿に思わず写真を撮りました。

最後に娘婿からサプライズで母の日に花束をプレゼントしていただき、びっくりしましたが、嬉しかったです。

一瞬、これ本物?と見間違えよう大な大変美しい発色のロイヤルブルー(染め)ガーベラがとっても素敵でしょ。

事務局の動き

- 【6月】
- 2月・人材育成部会
 - 3月・広報活動部会
 - 4月・造園技術フォーラム部会
 - ・AIPH 国際園芸博覧会 会場予定地視察
 - 7月・第36回全国「みどりの愛護」のつどい式典
 - 9月・全国造園デザインコンクール等推進部会
 - ・登録造園基幹技能者講習委員会(試験委員会)
 - 12月・建設キャリアアップシステム処遇改善推進協議会
 - 15月・第42回全国都市緑化ぎふフェア 閉会式
- 17月・街路樹剪定士・緑地樹木剪定士認定委員会
- 19月・令和7年度建設技能者能力評価制度推進協議会総会
- 26月・通常総会/第1回臨時理事会/講演会/意見交換会
- 【7月】
- 1月・広報活動部会
 - 3月・運営会議
 - ・造園技術フォーラム
 - 7月・地域リーダーズ会議
 - 11月・植栽基盤診断士認定委員会(試験部会)
 - 18月・植栽基盤診断士認定委員会
 - 24月・登録造園基幹技能者講習委員会

ブレスパイプ

樹木医が開発した筒型土壌改良材 特許第6656665号

takagi

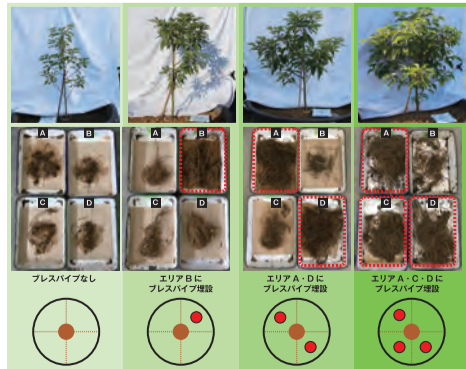
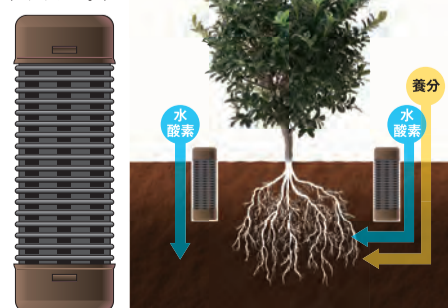
ブレスパイプとは

ブレスパイプは土中に設置することで、根の水分、酸素、養分の吸収が改善し、根や地上部の健全な生育が可能になります。

実験データからも、ブレスパイプが根の伸長を促進する事がわかり、さらに樹木地上部の生育も促進させます。

樹木の枯れ防止 樹勢回復 成長促進

ブレスパイプ



ブレスパイプの効果

樹木を中心に土壌を4つのエリアに分け、ブレスパイプを1~3本埋設し、根の成長の違いを比較。ブレスパイプを埋設したエリアでは、ブレスパイプに向かって多くの根が伸長。また、ブレスパイプを多く設置したポットの根は全く設置していないポットよりも約5倍根量が増加。

株式会社タカギ

お問い合わせ
✉ w-mizuyari@takagi.co.jp